

波浪予想図の改善

～三角波などの大波の発生しやすい海域の情報を追加します～

船舶の航行や漁業等の海上作業における安全を支援するため、3月7日（火）より、気象無線模写通報（JMH）等で提供している波浪予想図に、海面状況の変化が激しく突然の大波が出やすい「航行に危険な海域」の情報を追加します。

気象庁は、船舶の航行や漁業等の海上作業における安全のため、気象無線模写通報（JMH）で、各種波浪図の提供を行っています。単純な一方向からの高波以外にも、海面状況の変化が激しくなると、船が大きく不規則に揺れて航行や海上作業に支障をきたし、時にはいわゆる「三角波」などの突然の大波が発生して危険となります。

このため、気象庁では、波浪モデルの予測結果等を活用し、このような海域を特定する手法の開発を進めてきました。今般、「航行に危険な海域」を特定する技術を開発したことから、平成29年3月7日（火）より、現行の波浪予想図にこれらの海域に関する情報を追加します。

また同日より、気象庁ホームページ「海洋の健康診断表」で公開している各種波浪図については、視認性をより高めるため、従来の白黒版に加え、カラー版の公開も開始します。

【気象庁ホームページでの掲載ページ】

海洋の健康診断表

<http://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/shindan/index.html>

「波浪」を選択後、沿岸波浪予想図、外洋波浪予想図をご覧ください。

追加する情報の内容

外洋波浪予想図（FWPN）

複数の方向から波が到達し、海面が複雑になることが予想される海域

- ・波高 1.8m以上で、かつ二つ以上の波が存在するところを対象
- ・代表的な部分に、それぞれの波の情報も表示

沿岸波浪予想図（FWJP）

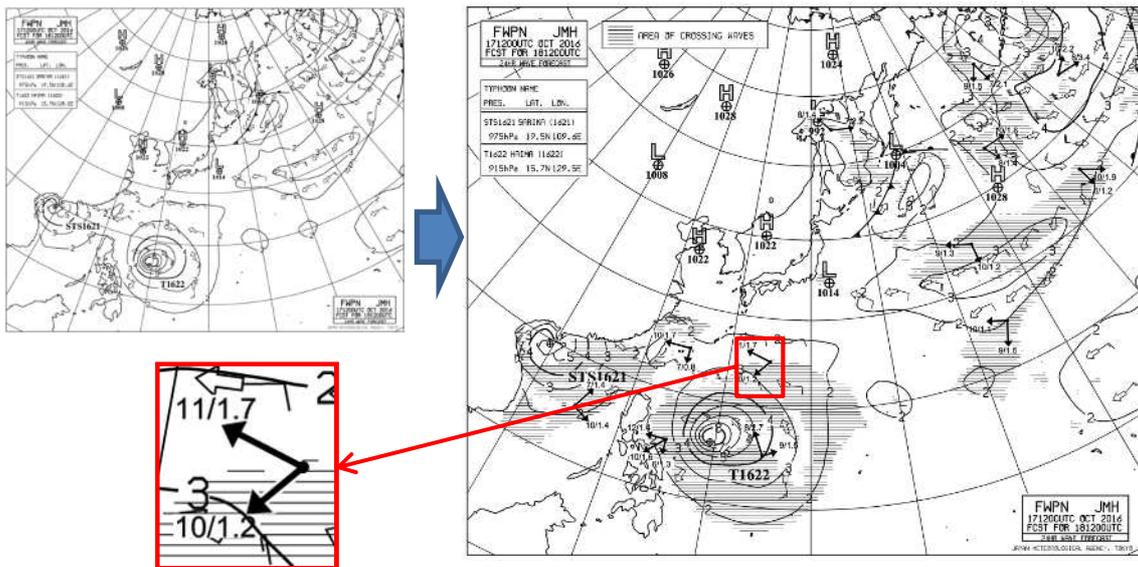
波と逆向きの流れにより、波の変化が激しくなることが予想される海域

- ・波高 1.0m以上で、かつ波高が5%以上増大するところを対象

【本件担当】 気象庁 地球環境・海洋部 海洋気象課 海洋気象情報室

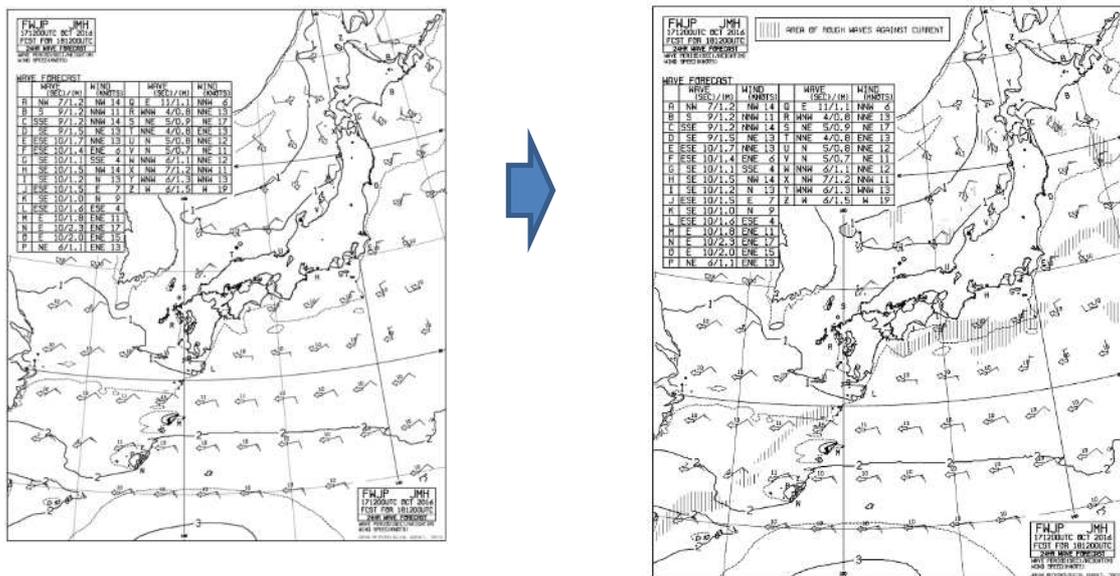
電話：03 - 3212 - 8341（内線 5139）

新しい外洋波浪予想図 (FWPN)



二つ以上の波が存在する海域を横ハッチでマークします。また、波の成分情報を表示します。

新しい沿岸波浪予想図



逆向きの流れにより波高が5%増加した海域を縦ハッチでマークします。

補足

- ・ 波浪解析図の様式は変更しません。
- ・ 本追加に伴う放送スケジュール等の変更はありません。

